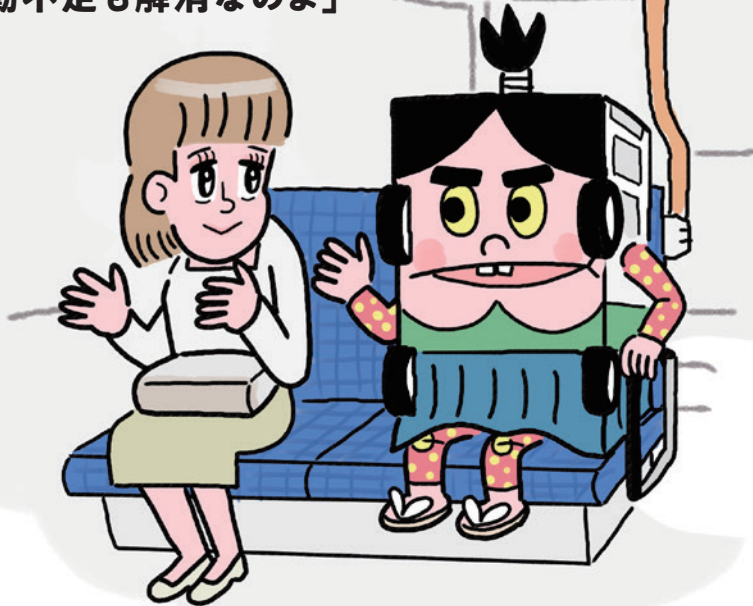


たろう
バス太郎は、
の じよせいきゃく はな
バスに乗っている女性客へ話しかけました。
「こんにちはでございバス!
これ、きびだんごです。どうぞでバス。あなたはなぜ、
バスをりようしているでございバスか??」

「わたしはね、バスの じかん ゆいいつ 乗っている時間が唯一の
じぶんじかん ひろ くうかん
“自分時間”なのよ。広い空間で、
うんてんしゅ つ いどうじかん
運転手まで付いてるバスの移動時間は、
だいたい どくしょ じかん
わたしの大好きな読書の時間よ!
あとね、バスだとバス停まで歩くから
まいにち ほすう ふ
毎日の歩数が増えるでしょ!
うんどうぶそく かいしょう
運動不足も解消なのよ」



「なんと!
いどうじかん ゆうこうかつよう
移動時間の有効活用、
うんてんしゅ つ
運転手付きというポジティブシンキング!!
いっせきにちよう
さらに一石二鳥とは!!」

うれ たろう
嬉しくなったバス太郎、
こんど こうしゃ お
今度は「降車ボタン」を押してみたくなり、
つぎ てい こうしゃ
次のバス停で降車しました。

